
真恋

taila

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真恋

【Zマーク】

Z5627A

【作者名】

taila

【あらすじ】

今まで臆病で本当の恋をしたことが無かった女の子が初めて本当の恋をするお話です

第一話・私

私は今年で高校三年生。

人並みに恋もしたつもり。ていうか、ほとんど一目惚れ（笑）
だけど自分は臆病だと決め込んで、今までに恋した人に一度も想い
を伝えたことが無い。

自分からは喋りかける勇氣も無いくせに

「何で私の気持ちに気付いてくれへんの？」

「何で話し掛けてくれへんの？」

と自己中心的な事を考えていたり。

友達には

「何で告白せえへんの？」
といつも言われてきた。

告白？？

何でそんなことあるの？？告白して・・・一緒にいて・・・？？た
だ、好きって勝手に思つたらあかんの？？

友達は私の事を
「菜津はクールやな
て笑う。

クールなんかじゃなかつた。頭の中はその人の事でいっぱい。
ずっとその人のこと考えてた日もあつた。

でも違つたんね

今まで私は本当の恋をしたことがなかつた。

今思えば私は恋をしてる自分に恋をしていたんだと思ひ。

どんなに恥ずかしがり屋でも、どんなに怖がりでも

本当に本当に好きになつた人には想いを伝えたくなる。

あふれてしまつて伝えずにはいられなくなる。

それを教えてくれたのは

亮ちゃん

あなたでした

第一話・出会い

高校三年生。今日から新しいクラスになることに何の心配も感じず私は3年3組の教室に入った。

亮ちゃん

あの時、一番最初に私と田が会ったのを覚えていませんか。

やつぱり今思つて、田惚れが得意な私はあの時もつあなたに恋をしていましたんだと思います。

中原亮佑

中学は違つけど、中学の時通つてた塾が一緒だつた。あの時はまたぐなんとも思わなかつたのに・・・

いつのまにか高くなつた身長、整つた顔立ち、着くずした制服

一年会わなかつただけでこんなにかわつたあなたに恋しない方がおかしいくらいにあなたは格好良くなつていた

やつぱり恥ずかしがり屋で意味のわからない見栄があつた私は久しぶりの再会にもかかわらず、まったくの無視。

あなたは私の友達の元彼だつたし・・・

しかもあの頃は、色々な友達に他校の男の子を紹介してもらつては、性格が合わないだのなんだの言って断つっていた頃だつたし、もう、あんな想つてるだけの恋はしたくないつて思つてたからかもしけない。でも私はあの頃何かが変わる気がしていた。

あなたのおかげで変われる気がしていたの。

* * * * *

1年前・・・

中原君と初めて同じクラスになつてからもう1ヶ月がたつ。まだ私は見つめているだけ。こんなのダメやなあー話し掛けなーって思いながらもう片方であかん！これを恋にしたらあかん！また前と同じ事繰り替えすん？と言つているもう片方の自分がいる。

誰かに相談しようか？？

でも誰かに話したらこの気持ちを恋として認識しなくてはいけない
ような気がして安易には相談できない・・・

でも中原君を見ると、毎日が楽しみだと思える気持ち、初めて味わう田の前が明るくなるような心の軽やかさを自分でも不思議なほど感じていた

やつぱり話しあげたい。

初めて自分からやつぱり思つた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5627a/>

真恋

2011年1月27日10時08分発行